

進捗報告書（実行団体）

事業名:	共創の音楽で大槌の子ども達に生きる力を
資金分配団体:	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
実行団体名:	一般社団法人エル・システムジャパン
実施時期:	2020年12月～2021年11月
事業対象地域:	岩手県大槌町
事業対象者:	障害や不登校など様々な困難のある大槌町の子どもとその保護者、大槌弦楽器教室に通う子どもとその保護者

Version 1.2

日付: 2021年5月17日

I. 事業概要

事業概要
音楽によって地域復興のために地元で活動する槌音と、震災直後から子ども支援として音楽教育事業を展開しているエル・システムジャパンとの連携で、地元の障害児向けデイサービス事業に通う不登校や障害のある子どもに対して楽器演奏や様々な分野の音楽鑑賞の機会をつくる。そのことで、子ども自身が自己表現をし、仲間と音楽でつながることができる環境を整える。また、エル・システムジャパンが運営する弦楽器教室の子どもたちとの交流により、さらにつながりと交流の輪を広げられることを目指す。

II. 進捗報告の概要

総括
コロナ感染拡大長期化により県外講師を招いた実施が難しく、全体として大幅な遅れがある。緊急事態宣言が解除となっても、県外者受入れに対して町民の抵抗があるため、計画通りの実施は容易ではない。一方この間、県外者受入れ態勢の模索やオンラインによる実施を検討してきており、4月から活動を実施できたが、今後はオンライン活用や動画作成、県内のアマチュア音楽家の協力を仰ぎながら、当初目標に向けて進めていきたい。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
子どもたちが学校や家庭とも違う第3の居場所としてこのプログラムに参加し、満足している：参加者数カウント、発表会の開催、個別・グループインタビューにより把握する	新型コロナウイルス感染拡大によって、集まって活動することが困難となり、さらに、首都圏の講師を予定していたため、緊急事態宣言の発令によって実施できない状態が続き、活動実施ができない状態が続いたが、4月に入り、地元音楽家の協力やオンラインにより、ようやく動きつつある状態 【実績】4月19日実施分（鑑賞会）：1年生5名・2年生11名・3年生1名・4年生3名・7年生1名 計21名 4月30日実施分（体験・鑑賞教室）：1年生5名・2年生11名・3年生1名・4年生3名 計20名 5月初旬までに、東京の音楽グループによるレッスン用動画作成 6月以降、参加の子どもたちにヒアリング、インタビュー、アンケート実施予定

活動	進捗状況	概要
週に1回、指導者を招き、楽器体験・練習会・鑑賞教室を開催する ・大槌弦楽器教室の子どもたちのコンサートに参加し、交流会を実施する (2021年8月)	遅延あり	2020年の12月から事業開始の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、当初計画していた通りの実施が困難となった。オンライン活用等代替案を検討したが、3月まで具体的な活動はできず、検討と調整の期間が続いた。4月に入り、ようやく録画による音楽鑑賞会の実施と、地元音楽家による体験・鑑賞教室を実施することができた。この実績を基に、1週間に一度の実施を予定通り進めていきたい。 4月19日実施分（鑑賞会）：1年生5名・2年生11名・3年生1名・4年生3名・7年生1名 計21名 4月30日実施分（体験・鑑賞教室）：1年生5名・2年生11名・3年生1名・4年生3名 計20名 5月初旬までに、東京の音楽グループによるレッスン用動画（歴史や楽器解説、演奏方法等）を作成し、指導者の少ない町内の吹奏楽部の他、障害のある子どもも含む希望する町内の子どもたちに、音楽を学んだり、触れたり、演奏してみたりできる機会を提供する。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>子どもたちが、仲間との音楽活動を楽しめ、生の演奏を鑑賞する機会を得て、子ども自身が自己表現をし、仲間と音楽でつながることができる環境を整えることを目指し活動を開始した。1年後までに100人の子どもたちが参加できることを目指しているが、新型コロナウイルス感染拡大による様々な活動の制限により、当初予定通りの活動が実現していない。ただやはり、こういう時期だからこそ、子どもたちが仲間とともに安心して活動できる場所は必要であり、そのために、感染防止や町民感情に配慮した様々な工夫により、企画を進めていきたい。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥1,456,080	¥4,605,925	¥6,062,005	¥38,100	1%
	管理的経費	¥344,200	¥703,779	¥1,047,979	¥470,890	45%
合計		¥1,800,280	¥5,309,704	¥7,109,984	¥508,990	7%
補足説明		<p>新型コロナウイルス感染拡大によって、集まって活動することが困難となり、さらに、首都圏の講師を予定していたため、緊急事態宣言の発令によって実施できない状態が続き、執行率が低い状態となっている。旅費交通費や会場使用料を感染対策やオンライン実施のための必要経費に振り返ることなどを検討中</p>				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>新型コロナウイルスの感染拡大の長期化による様々な集会の開催制限と、緊急事態宣言等法的な制限がなくても、県外または町外からの来訪者に強い抵抗を示す町民感情。</p> <p>オンライン実施や、町内のアマチュア音楽家による企画の実施により、今後は毎月の実施を準備したい。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	2021年1月に実施予定だった企画に、取材が入る予定だったが、企画延長により変更となった
広報制作物等	無	
報告書等	有	エル・システムジャパンのFBで実施について報告

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部に窓口を設置、外部に窓口を設置、JANPIAの窓口を利用。窓口についてメールでの案内と事務所内への掲示で周知。